

《住民参加の資源化・減量化計画》次期ごみ処理施設に役立てる

平成13年12月18日に設立いたしました「ごみ処理検討委員会」では、次期ごみ処理施設整備にも役立てていくため、塩谷広域圏内1市4町からの住民委員及び有識委員さんが生ごみ対策部会、事業系ごみ対策部会、プラスチック系ごみ対策部会に分かれてごみの資源化・減量化に知恵を絞って実践に向けた提案を検討しています。

～ 委員さんからの声～

今ある施設では、能力を超える量のごみが処理されています。また、10年後には移転しなければなりません。

焼却するごみの量を減らすために資源化・減量化について住民代表として参加しています。



西谷部会長(公募委員)



小久保部会長(有識委員)

資源環境として生ごみの堆肥化が注目されていますが、生ごみの分別堆肥化と農地還元資源の循環と食の循環等、土に返すための住民参加の取り組みが活性化するか否かで、今後整備される施設が大きく変わってくると思われます。

「ニュースレター」及び「ごみ処理行政」に対するご意見・ご提案等をお気軽にお寄せください。

問い合わせ先

〒329-1572 栃木県矢板市安沢3622番地1
塩谷広域行政組合 管理課 斎藤・阿美・印南・佐藤
TEL.0287-48-2760 FAX.0287-48-0463
E-mail:shioya-kanri@gamma.ocn.ne.jp